

全力で突っ走れ！ 折乃笠部長

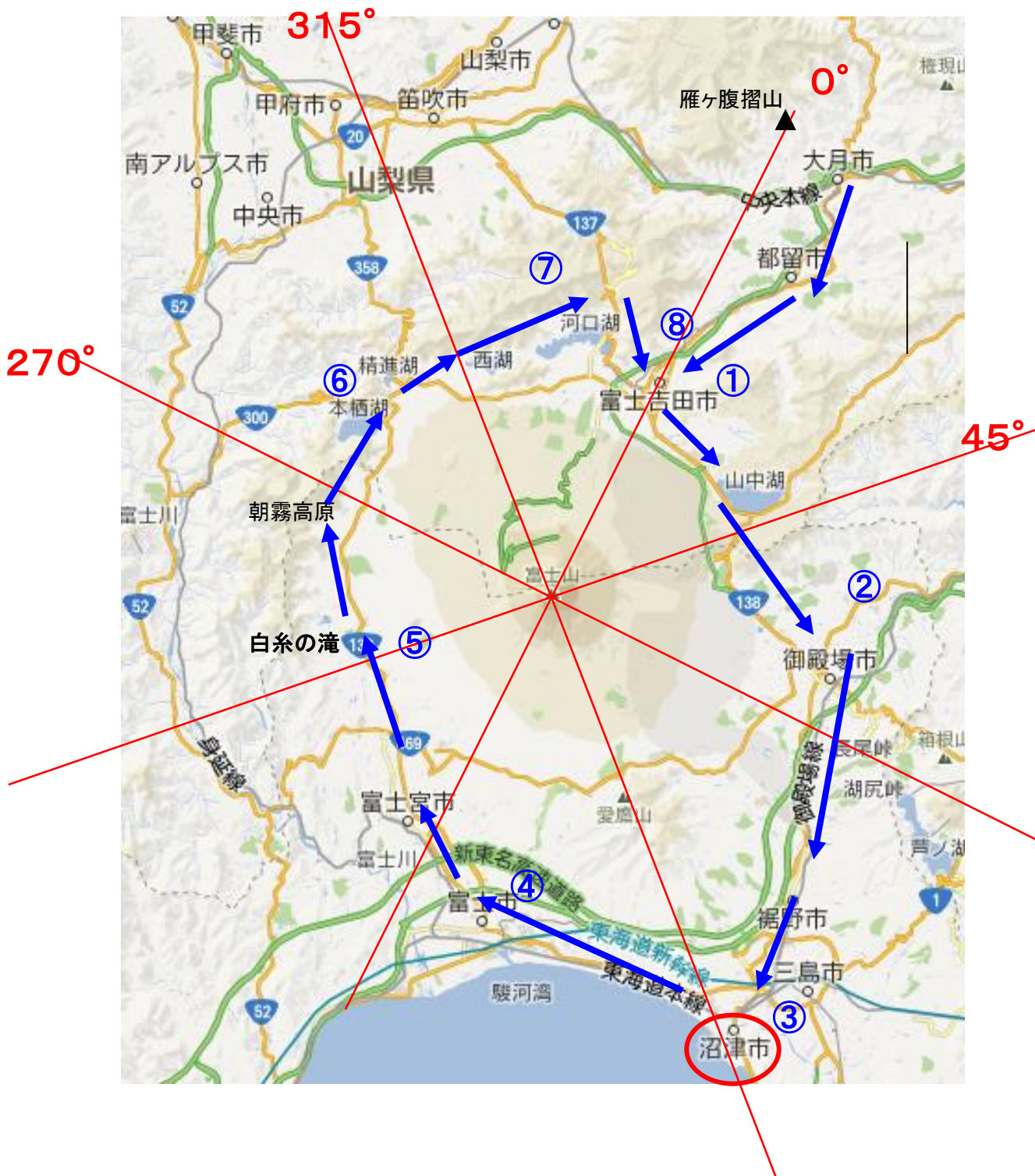
富士山歴訪の旅

2. 富士山一周徒歩の旅 2013年

【13】沼津芹沢光治良朗読会 12月 7日(土)

目次

- 【1】はじめに
- 【2】全行程図
- 【3】大月～富士吉田 3月 9日(土)
- 【4】富士吉田～御殿場 4月27日(土)
- 【5】御殿場～沼津 5月 3日(金)
- 【6】沼津～富士 8月10日(金)
- 【7】富士～白糸の滝 8月17日(金)
- 【8】白糸の滝～本栖湖 10月 6日(日)
- 【9】本栖湖～河口湖 10月13日(日)
- 【10】河口湖～富士山駅 10月19日(土)
- 【11】御殿場～富士宮浅間大社写真リベンジⅠ 12月 1日(日)
- 【12】富士宮浅間大社～本栖湖写真リベンジⅡ 12月 7日(土)
- 【13】沼津 芹沢光治良 朗読会 12月 7日(土)
- 【14】まとめ



【13】12月13日（土）芹沢光治良 朗読会&ミニコンサート
 本栖湖～富士宮浅間大社の写真リベンジ車の旅Ⅱを終え、東名高速道路にて沼津に向かった。
 本日のもう一つの目的である、小説家芹沢光治良先生を偲んでの朗読会&ミニコンサートに参加するためである。
 この会は沼津市制施行90周年記念事業として、沼津市と芹沢光治良文学館が催した会であり、200名に限って募集したものである。

沼津市制施行90周年記念事業 第6回沼津文学祭「芹沢光治良と沼津」

朗読会 & ミニコンサート

～「朗読と音楽でつづる芹沢光治良と沼津」～

日 時：平成25年12月7日（土）午後1時30分～午後4時頃

会 場：サンウェルぬまづ4階多目的ホール

語 り：山中 一徳 氏（ナレーター・沼津市出身）

声 楽：芹沢 文子 氏（声楽家・芹沢家3女）

ピアノ奏者：岡 玲子 氏（ピアニスト・芹沢家4女）

募 集 人 数：200名程度（入場無料）※定員になり次第〆切

申 込 方 法：電話又は電子メールにてお申し込みください。

申 込 先：沼津市芹沢光治良記念館（月曜休館）

TEL:055-932-0255 E-mail:kojiro@city.numazu.lg.jp

沼津市教育委員会事務局文化振興課 TEL:055-934-4812

芹沢先生には、4人のお嬢様 万里子様、朝子様、文子様、玲子様が居られる。
 残念ながら長女万里子様は若くして亡くなっている。
 3女文子様は声楽家として音楽大学で教鞭を取っておられた。
 4女玲子様はピアニストとして世界で活躍された。
 今回、尊敬する芹沢先生のお嬢様が出演されるということで、心から、どうしても、この会に参加したかったのである。

そして、当日、小生にとっては、夢の様な出来事が起こるのである。

開演午後1時30分からであったが、どうしても一番前に座りたかったので、12時に会場へ。

なんと！ロビーでお嬢様3名とスタッフが御食事中の中に飛び込んでしまった。そこで、先生を尊敬している事、元文学会会員だった事、富士山一周の旅を今日終えた事、日本一富士山が美しく見える大月に住んでいる事などなど、話に花が咲き、最後には記念撮影まで。感動で声が震えていた。

これは富士山一周徒歩の旅を今日やり終えた小生への芹沢先生の御褒美に違いない。



左から2女朝子様 4女玲子様
3女文子様、奥様、芹沢先生



ピアニストとしてテレビ出演していた
4女玲子様、見守る芹沢先生

朗読と独唱 紹介

とつくにに
死とたたかいし
わかき日々
われを鼓舞せし
富岳よ 海よ
げにふるさとは
ありがたきかな





左から文子様(80歳) 玲子様(75歳)

「ありがとう、富士の山」

帰り途中、赤く夕陽に染まる富士山に向かって、小生は呟いていた。